

事業所名

ジュニアサポートあさがお

支援プログラム

作成日

R8 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		発達に遅れや偏りをお持ちのお子様ばかりではなく、全てのお子様を対象として一人ひとりのお子様たちがご家庭や地域とのつながりの中で幸福を感じ、自立していけるように支援を行います。		
支援方針		<p>○お子様が安心してのびのびと過ごせる居場所となるように配慮を行います。</p> <p>○お子様の興味や関心、長所や強みを伸ばしていきます。</p> <p>○お子様の特性を全スタッフが理解し、お子様一人ひとりに合わせた療育支援をチームで行います。</p> <p>○保護者様の気持ちや想いを受け止め、寄り添っていきます。</p> <p>○お子様を取り巻く環境（家庭・学校・関係機関）との協同を大切にします。</p>		
営業時間		9 時 0 分から 17 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	食事（おやつ含む）や排泄、更衣などの日常生活動作や、手洗い、うがい、身だしなみ等への意識の向上を図っていきます。持ち物の管理や整理整頓、当日のスケジュール確認など、自立的に行えるように支援します。必要に応じてお子様が集中しやすい環境の調整や、絵や写真カードを用いたスケジュール提示など、予定を分かりやすく伝えていきます。		
	運動・感覚	身体機能やスキルの向上・・・鬼ごっこやバランスボール、トランポリンやブランコ遊び、ミニ運動会やサーキット運動などの遊びや活動を通して、楽しみながら心身の成長や発達に繋げていきます。（粗大運動） また、毎月の工作活動を通してハサミなどの道具の使い方や「切る・貼る・折る・つまむ」などの手指の巧緻性の向上にも繋げていきます。（微細運動）		
	認知・行動	来所から帰宅までの一日の予定をスケジュール表で掲示しています。 おやつや活動の時間を分かりやすく可視化したり、帰宅15分前には帰りの音楽で行動の切り替えを促すことでルールや指示の理解を図っています。 また、おやつの購入の機会を通して、数や量、お金の理解が深まるように支援を行っています。		
	言語 コミュニケーション	日常生活における自己表現を始め、気持ちや要望を相手に伝えられるように、お子様の特性に合わせた支援を行っています。 スタッフがお子様の気持ちを汲み取り、身振り手振りで相手に伝えたり、必要に応じて写真や絵カードを用いたコミュニケーション手段を活用しています。		
	人間関係 社会性	集団・小集団での遊びや活動を通して順番やルールなどの約束事を理解し社会性を学んでいきます。 また、友達と一緒に遊ぶことを通して協力したり応援をすることを体験し、充実感や連帯感を感じていけるように支援を行っています。		
家族支援		保護者様のご要望に合わせ、適宜に相談支援を行っています。 また、半年に一度の面談や保護者会の開催を行っています。 相談支援専門員や発達支援アドバイザーも含めた相談支援も行っています。	移行支援	進学先、就労先との情報共有を行っています。 上記並びに環境適応に向けての事業所間での協働も適宜に行います。
地域支援・地域連携		学校・相談支援事業所・発達支援センター・他放課後等デイサービス事業所など、各関係各所との連携や自立支援協議会への参加を行っています。	職員の質の向上	スタッフの外部研修への参加や他事業所様との意見交換を通して、知見や視座を高めています。 また、事業所内研修やスタッフミーティング、支援会議を通して支援方針の確認やモチベーションの向上に繋げています。
主な行事等		○毎月のお誕生日会 ○ハロウィンやクリスマスイベント ○水族館や動物園などのお出かけイベント		